

広報かわにし

川西町役場
川西町 中村壮吉 部長
星名四郎 編集人
白南風 印刷所
人口の動き
8月1日現在
男女計世帯数
6,909 人
7,068 人
13,971 人
2,745 世帯

町議選終わる

新人十一名が議席に

後半、激しかった選挙戦

全町民注視のうちに、初の大選挙区制で行なわれることになっていた町議会議員選挙は五日に執行され、即日開票の結果次の二十六氏が当選した。

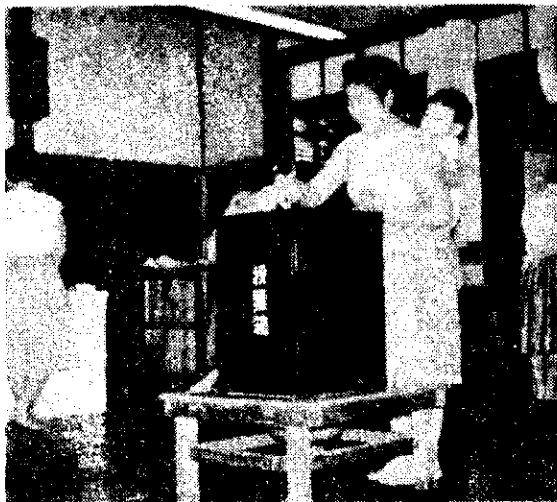
当初、激戦が予想されていた選挙であったにもかかわらず、わずかに一名超過というさびしいかたちで締め切られ、あるいは無投票になるのではないかといった低調であったが、後半になってがぜん争いがつづき、投票の前日まで、それが当選するか「さえおぼつかないほどの激しい運動が展開された。

こうした中で住民の審判が下され、結局、現議員十五名、元議員四名、新人七名の各氏が、晴れて二十六の議席をかくとくしたわけである。

当選者の顔ぶれ

市川 富二	現	三四五票	和久井精一	現	三二六票
田中 与三郎	現	三四五票	馬場 ト禮	現	三二六票
水品 正一郎	前	三四二票	黒島 豊二	現	三〇四票
小林 伝司	現	三四二票	斎木定太郎	新	二九七票
教藤 孝平	新	三三六、一八八票	内山常治郎	前	二八九票
織品 茂雄	前	三三六、七三二票	押木 二吉	新	二八三票
滋野 一郎	現	三三六票	保坂 長雄	新	二八一票
丸山 欽一郎	現	三三三票	登坂 敬恒	現	二六七票
中村 昌平	新	三二二票	江口初太郎	現	二五四票
			平野 圭二	現	二四三票
			須藤 亮助	現	二四三票
			山家 音平	現	二二八票
			南雲 章	現	二三九票
			田中 金造	現	二三九票

小林 与作	前	三三一、〇二六票
和田 光興	現	二二九、八二二票
田村才一郎	現	二二七票
※有権者数	八、三〇三名	
千手	二、六四三名	
上野	一、三〇八名	
橋	一、五二六名	
仙田	二、八二六名	
※投票者数	七、六八七名	
千手	二、四三三名	
上野	一、二二六名	
橋	一、四四四名	
仙田	二、五七四名	



田戸に 婦人学級

田戸に婦人学級が開設され、さる七日に開講式をあげて学習活動がはじまった。春以来、「婦人学級がほしい」と叫んできた若いアネサたちが婦人会を動かし、町に働きかけてこのほど実現のはこびになったもの。学級長は青木 法さん、在籍学級生は三十三名である。

※パーセント	九二、五八%
千手	九二、〇五%
上野	九四、五〇%
橋	九四、六三%
仙田	九一、〇八%
※男女別の比率	
男	九一、八四%
女	九三、二七%
有効	七六三四、九九八票
無効	五二票

農業の協業化への 期待とウラ

この学級は、婦人会員の中から「継続的に学習したい」という意欲のある人だけが集まって編成され、町の教育委員会が開設したものであるが、本年度はとりあえず①農業を真剣に考えてみよう。②子どものしつけや育てかたはこれだけでよい。③食生活を改善しよう。④時代におくれない母になろう。⑤楽しい婦人学級をつくろう。などについて毎月(夜)二回、部落の公民館で勉強していくことになった。現在、夫が妻を励まし、婦人会が全面的に支援する、といったほおまじいムードにつつまれており、今後の成果に期待がよせられている。

町づくり

「泣くに泣けない気持ちにはよく味わうことである。よそが不作でなければ高くは売れない。他人より一歩先んじなくては、生きることすらむずかしい。他人の不幸が切ない気持ちを「げす根性」と笑ってすまされない話である。しかし、農基法ができ、雨をあげて新しい農村のうまれ変わりが行なわれつつあり、一、五ヘクタール以下の百姓は、生活ににくい農村が生まれようとしている。耕地も面積も少なく、他産業もいまだに少ない。そこには農業の協業化、企業化への期待が生まれてくるわけで、このため、まずなまねばならないのは、やはり意識の改善になると思える。家族的な組合せの中でないと存せぬ古きはなくしたい。

の町にとって、痛切な目前の事実なのだ。隣の家が倒れるのを笑っているのは足もとに火のつくことになりかねない。他人の成功を切ながってばかりいても同様である。だから、この際一先きに考えることは、たとえ小さくとも、個々の力を出しあって、大きな力にまとめあげて行くことではなかるか、お互に、悲しみ、苦しみをわかち合って、ひとつの目的に向けて協力し、共に栄える道を築く。よりのほかないような気がする。たとえば、十羽、二十羽のわねわねの鶏を、餌料の購入費は安いというところ、飼料の購入費は高いところ、と見ただけでも、卵は高くよって売れるものならぬような格好で、鶏と鶏とは比較にならない。近辺の例では、水沢のいちごが、外品でも、村のシャム加工場にもってゆき、一粒のむだにもならないのである。

川西町議会議員	田中 与三郎
同	内山 常治郎
同	中村 昌平
川西町教育係長	金山 豊光
川西町社会教育委員	太田 長栄
川西中学校PTA会長	中村 金作
川西町婦人会連絡協議会長	大溪 晶子
川西町青年団連絡協議会長	金子 澄男
川西町青年学級自治会長	山家 勇
川西町公民館主事	保坂 国夫
記 録	北村 準一
広報 編集者	星 名 四郎

の 現 実

会 議 員 を か こ ん で

考ともしたいわけでありませぬ。町民の立場から議会に対する要望や、これに対する議員のお考えの一端をうかがえればさいわいと思えます。

まず、この選挙をさして公明と見えるかどうか、この辺からお話をうかがいますが、今回は、ご承知のとおり初の大選挙区制でもあったし、結果は、得票差もきわめてきん少であったことから、非常な接戦が展開されたことが想像できます。そこで、運動がどのように行なわれたかという点あたりからお願します。

A 概して悪質な運動は少なく、とくに平場では公明選挙も一歩前進したといえる。ただ部落にはいって感じたことが一つある。別に票をいいただきにいったのではないが、わたしが行ったために、知り合いの娘さんなのであるが、変にカンぐられて迫害された例がある。こんな選挙はしたくないもので、法で許された自由な運動が展開されなければならぬ。

かためてしまえばわがごと終われりという偏重から一歩進んだ、全町的な視野が必要だろ。

B それは部落公認の姿にも問題がある。もちろん自分の部落の票は必要であるが、半分は全町相手に得票するようでないければならぬ。公認の形も、どうしても彼からは出してもらいたい、という部落の何人かの強い推せんで出てくるのがよい。

D 街頭演説をやるのが少なかった。わたしの記憶では二名の候補者の街頭演説しかきいてない。許された運動をなせやらないのかギモンに思った。選挙の全般をおしては、青年・婦人層の意志の反影がみられたのは良い傾向だった。

A 街頭演説とかはがきの許された範囲で所信を明らかにするのは自分で立候補した以上、選挙民に対するギムではないか。たとえ当選する自信があってもせひ必要である。

F 同感だ。先回の座談会ときも、こんどは大選挙区なのだから候補者の経歴なり所信をみんながよきわかるような方法を講じていただきたいと要望したところ、それは無理であるとのことであった。間を通じて自分の考えを町民に知らせるよう強く要望したにもかかわらず、かえって以前より低調であったのは解せない。

れはという空気をづくり出して、全町的な視野に立った候補者がすくない。部落にかたよった選挙戦という状態がしぜんと生まれてしまった。いままでの議員の働きがりがまわいた結果だろ。

B 候補者の働きかけが小範囲にかたまつて、全町に所信を表明できなかったのは選挙法にも問題がある。たとえば、機動力であるが、わたしも、当初は全町の街頭演説を計画していたが、自転車ではどうにもならず、やむなく中止したせめて軽自動車くらいは許可されていたら...

E 部落根性をすてた全町的な意識をもって選挙にのぞむには、選挙民・候補者のいすれにも勉強が不足していたといえるのではなからうか。

また強い 部落根性

司会 婦人や若い人たちの見方はどんなでしょうか。

H わたしの知る範囲では選挙運動はよくなつていいると思ふ。が、もうすこし選挙そのものを全町に徹底するような方法がほしかった。七日の日あたり、まだだが当選したのかすら知らない人が仙田地区にはある。

I もつと全町的なPRを期待していたのだが、いろいろの面で視野のせまい選挙だと思つた。

G 部落意識が強かった。小部落から出た候補者が落選しているのをみてはわかる。地区的にも、あそこはもう定員だとか、ここは超過したなどと話していたら...

A 部落意識という点ですが、わ

たしは全地域から票をいたたいという確信があり、全町の代表だといふ意識をもっている。支持を受けたという点では一票も百票も同じで、議員も支持にたえる覚悟が必要で、大選挙区制であった以上、全部の議員が、自分は町の代表だといふプライドに生きることで。

B どうも部落公認という姿に一番問題があり、どうしてもあらためる必要がある。

C 仙田の部落意識はたしかに平場より強い。出たかないのだが部落でどうしても出れというから立候補したような人もある。しかしそれは別として、やはり前回よりは進歩している。

司会 となたのご意見も、選挙運動は全町的な視野をもつてやる必要があり、議員も町民全体の代表者であるという自覚がほしいという点で一致したわけですが、もうすこしついで、戸別訪問の問題などいかがでしょうか。

運動方法に もう 一歩

F いろいろなことにかこつけてたとえば前回の礼だというように、実質的には訪問をやっていた候補者を見上げる。また運動員でないが事実上の運動員が存在が数多くある。

E 運動の防衛をしたり、後を尾行したりするのが公明選挙でないという意識が高まっているのはけっこうであるが、そのハネツカエりと思われよう戸別訪問の行動がないでもない。公民館・選挙で公明選挙のPRに、部落に出た

のは意識を高めるのに効果があった。

A 一人を落すのがわれ当選することでは困る。他人を落そうとする意識が先にたつような選挙はやりたくないというのがわたしの信念で、自分はどうするんだという信念でたつた。いろいろな情報、たとえば「あなたは当確なんだから別の人に投票する」といった苦しい面もあった。個々面接のかさなつたのが戸別訪問だといわれたのかもしれない。

B 微妙な点で、戸別訪問がいけない行為なんだというハネツカエりはたしかに恐ろしい。

司会 法定選挙費用の一七二〇〇円の線はどうでしょうか。

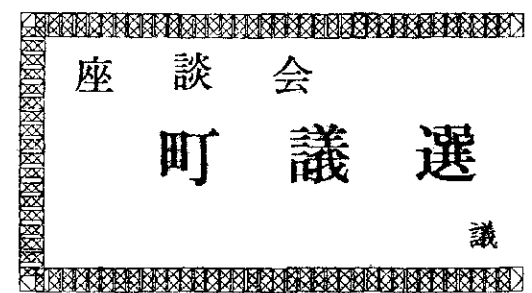
D 一七二〇〇円の線が守られるならけっこうな話だが、十方から二十万は使つたらどうか。選挙費用を部落でまかなうということもきいているが、大問題ではなからうか。

F 法定選挙費用を某候補の得票数で割ると、ひとりあたり五十二円程度ではまかないきれない。この費用で全町をまわることになればとてもたらないだろう。これまで話してきた部落公認の問題も選挙費用と関係があると思うが、E 選挙費用でない金で運動がまかなわれているのだから、金を使わない選挙になるのが望ましいのは当然だが、選挙民も、事務所にいって「はいやってくる」という態度がなくなはない。

A これまでに、一票が万という金にあつたという例もあつて、今回の選挙も、二十万から三十万はいるというワワサがでていた。

選 議 町 談 座

議



風景は随所に見られた。街頭演説の例だが、ひとりの運動員が、同一地区のふたりの候補者のハタを持って、オレたちの地区ではふたりが当選しようという運動があったように、部落という範囲だけでなく、旧町村という地区にかよった考えも強いようだ。

A 部落から半分とれば上でき。そのかわり、部落外からもとってくる。それでよいのだろうか。

B 部落境のケイカイもはげしかった。朝からてんでにたむろしてははいれない。たとえはいつても尾行といろぐあいだった。もとも東道派は別だが。

E その点はよくなったとばかり思っていたが……

司会 いろいろでました。それはそれとして、さきほど話のあった、三日もたつてまだだれが当選したかすらわからないという状況。これについてご意見をお願いします。手手の場合など有線放送があるのでいいこともないが……

G 速報ぐらいは流していただきたいですね。

D 選挙には速報をたさなければならぬ。PMはないし、まあ、回覧程度の方法はとっていただくのがよいのではないかと。

E 三日たつてもワカランというほどでは、選挙に対する意識のキハクが抱いた結果だろ。

B 選挙の前の晩、わたしも苦しくなつたので、昔の兵隊友だちをたずねたら、自分の部落の候補者はわかるが、ほかからだれが出てくるか全然知らない。当選したのがだれだか知らない話もうなすげえ。

E 前回の座談会のことになるけれども、だれが立候補して、経歴はどうかくらひは、町民に流す方法を講じていただく必要がある。B だれが立候補したということを知らせるのが先決で、そうすれば、当然、部落にも関心を寄せることになる。

司会 選挙民に状況を知らせる工夫がほしいという点で、こんこの宿題にもなるようです。たしかにもっとも身近な選挙なのだから、一番たいせつなことだともいえますよ。

そこで、これまでにお話いただいた点を要約すると、まだまだ問題はのこされているが、全般的には選挙民も目ざめてきた配りがかがわれる。公明選挙も口きさだけてなしに、行動面にもあらわれてきた節がある。希望がもてるということになると思えます。

最後になりましたが、この座談会の目的の一つである、議員になるのを望むか、あるいは議員の立場で、町民の要望にどうこたえるかを話していただきます。選挙民の立場からどうぞ……

一度は飲食の機会がすくなくなるのではないかと話合っています。ちよつとシンラツですけれども、お酒のむのをセーブしてもらおうよう希望しています。

H 当選したとたん高姿勢という態度をなくして、住民のため気むすい相談相手になってほしい。

E 川西町は周囲をみてわかるのとおり、十日町・小千谷両市にはさまれて、町政いかなでは衰微と繁栄の境目にある。だから、こまかな点でなく、大きく望むなら、将来はどうかなるんだという見地に立って、全町が振興するような施策を立てていただきたいもの。司会 いろいろご希望ができました。それは議員のかたからどうぞ。

これからの町政に

A 部落意識を払底して、議員たるものはどの部落の問題でもみてやらなければと思つている。そのためにも町の施策を計画的にやる必要がある。

また、町議会においては、住民の立場を第一義にして、いやしくも政党政治的な信条は主張する場ではないことも自覚している。もともと議員は立場が理事者とは違つて、最終的には住民のため、一番よい方法を見つけたら、ゆかねばならない。その間、理事者に追従することなく、堂々とわたり合う筋道を確立したい。

議会に対して要望のあった飲食費がかさみすぎるよつたという問題は、決してシンラツな要望ではなく、町民の当然の声だと思つた。たとえば一次会などは場合によつて必要であることも承知してもらいたい。二次会費にまでいたるのにはよくないと思つている。

高姿勢うんぬんのこと、気さくなムードは議員自身が作りだすべきだろう。

とにかく、町民の審判をうけてはじめて議員の身分を発揮できるのだから、今回の選挙をケイキに川西町の代表議員という意識で議会の場にのぞみたい。

B 四期目の議員生活であるが、常に正しい姿勢でありたいと思つた。わたし自身は酒をやらぬが、せつたい酒を飲んではならぬというわけにはゆかない。酒が必要な場合もあると思う。あくまでも浪費・冗費のどめ役にならうという信念である。

理事者との関係には議会重点主義を発揮するよう努力する。

C 年令は最高だけれども、初めての議会生活であり、他人からおされて出た面もあって、具体的な考えはまだまとめてない。ただ住民の意志を反映した仕事をしたいと思つた。

司会 きょうはおいそがしい時間のなか出席ください。しかも有意義なご意見が多く、お礼申し上げます。

議員からは町政のありかたを再認識していただき、町民も自分の選挙した議員の行動をよく見守つて、おたがいにつながりを密接にするようお願いして、この座談会を終ります。

ふ る さ と

○部落公認とポスターに印刷して、その部分を消させられた候補者があつた。選挙法上の取り扱いはいともかくとして、ポスターを消しても部落公認という事実には変わらないはずである。▲農山村に住むわれわれが、必ずそのいすれかに属し、そこで生まれ、そこで生活し、そしてそこで死んで行く部落は、それ自体一つの強固な自治体であり、一つの国家でさえある。そこには統一があり、組織があり、財政があり、外交があり、一種の自衛力さえある。▲われわれの日常生活は部落を離れては存在しないと言つてもよい。にもかかわらず、この部落という単位は、制度としては根拠のない、法的基礎を持たない存在とされている。そして、いつの選挙でも部落推薦の可否が問題になる。▲部落はたしかに因習と封建性の根強い温床であることも否定できない。しかし、最も切実な利害を共通にし、そのゆえに部落の意向が当落に決定的な影響力を持っている事実も平直に認めなければならぬ。この現実を目をおおって、観念的な公明選挙のキレイゴトを唱えるだけでは決して問題の解決にはならない。▲事実、鳴物入りで投票するときは、すでに選挙の自由はほとんど失われている。か、極端な場合は無投票という形で棄となる。選挙は、不特定多数の中から候補者を選び出す部落段階においてこそ、最も重要な役割が演じられているということをお忘れはならない。(M)

これが、今回候補者がすくなくかつた原因の一つにもなると思う。事実、金がなければダメだ、というのがよくきかれたものだ。わたしの場合だと、事務所はいつもカラツポだし、ポスターも知らぬうちに、金のかからぬ選挙をやつてきたつもりである。現実の問題としては、一七二〇〇円という費用は意味のない、カラ文句におわつたのが実情ではなからうか。

G 事務所はらきというのはどう解釈したらよろしいのやら……

A 選挙対策をもつのが選挙事務所。お茶を出すのは常識であつても、町内全部をよせて飲食を供するような事務所はらきであつてはならない。

知らせる方法

知る意識

F 話の前にもどるが、最初からうまくはゆかないにしても、大選挙区制の意識がしみこんでいない

I まず、部落意識をすてて、全町的な視野で町政にあつていただきたい。

F ムリがヤボでも部落のことをやるのでなしに、それが、こんこの選挙の正しい姿をつくりあげるためにも、四年間は、町の一般的な立場からお仕事をすすめてください。

G 婦人議員でもれば、三度に

新議員に望む

I まず、部落意識をすてて、全町的な視野で町政にあつていただきたい。

F ムリがヤボでも部落のことをやるのでなしに、それが、こんこの選挙の正しい姿をつくりあげるためにも、四年間は、町の一般的な立場からお仕事をすすめてください。

G 婦人議員でもれば、三度に

日時 八月八日 午前十時より

場所 川西町役場 会議室

忘れたらならない。(M)

・インタビュー記事・

二十六議員が語る「わたしの抱負」

ここにのせたのは、わたしたちの代表者、選良として、二十六議員がこれからの四年間、どんな信条のもとに町政にあたろうとしているかをうかがうため、個々にインタビューした際のものであり、この企画も、町民は議員を知る必要があるという意図にのみとすいた。

齊木定太郎議員

- ①農基法をいかに消化し、地域産業を合理的に経営していくか。
- ②社会情勢と並行した教育の向上
- ③豪雪地、特に仙田地区の道路整備。

押木二吉議員

- ①地域によって差のある平場と山間部が互いに理解し合う。
- ②農業を主体とした町づくり推進
- ③通学道路を整備し、バス利用。
- ④環境衛生の完備。

山家首平議員

- ①教育の振興
- ②農協の合併を促進し、農業団体の強化をはかり、生産の増強と農家の利益をまことに農村川西の向上があると思う。

内山常治郎議員

- ①平和で豊かな町づくり
- ②土地改良(酪農、家畜の振興)
- ③家庭機業の振興
- ④教育施設の問題――中学教育における地域差をなくしたい。小学校においては屋体を完備する。
- ⑤県道の問題。災害復旧、栄橋建設の早期解決をはかる。

馬場下禪議員

- ①川西中学校の整備完成と全日制高校の誘致。
- ②開田及び土地改良事業の完成。
- ③社会教育、公民館運動の推進

川西県道幹線補装の実施

- ④栄橋の早期建設実現
- ⑤滋野一郎議員
- ①自由な討論と明るい調和、これこそ議会政治の基本と信じ川西町の発展に議会人としての本分に努力いたします。
- ②町の産業発展には広く町民みなさまの意見を求め、正しい代弁者となり農業政策、工業政策等基本施策を立て、明るい豊かな町づくりに努力する。
- ③江口初太郎議員
- ①後進地域、特に仙田地区の開発
- ②大沢、川西線の改良促進
- ③へき地教育の振興。
- ④産業道の開発。
- ⑤田中金造議員
- ①民主的議会並びに健全財政の確立を図る。
- ②部落根性を捨て陳情議会の悪習を排除した全体の奉仕者である議員として、明るい町政をやりたい
- ③第三次機構改革の早急実施と、適材適所に人員を配置。
- ④定年制を条理化し、最少限の優秀吏員で最大限の事務能力を発揮せしめて応分の生活費を支給する
- ⑤中村昌平議員
- ①仙田線、縦横、特に仁田峠―新町線の改修
- ②営農関係から考慮して、生活環境の改善。
- ③学校施設の整備充実をはかる。
- ④和久井精一議員
- ①長期総合建設計画の樹立
- ②近代的な資源開発
- ③工場誘致。
- ④陳情政治の打破
- ⑤水品正一郎議員
- ①農協の合併。農民の利益を守る
- ②栄橋の早期促進
- ③教育、産業面の偏重政策是正。
- ④河川改修。
- ⑤総合的病院の建設
- ⑥丸山欽一郎議員
- 具体的抱負を発表できる段階ではないが、これまでの町行政全体をみて教育偏重のきらいがあるので、今後は産業育成にも力をいれるような活動をしたい。
- ⑦和田光興議員
- ①これまでの経験と反省を基礎にして自分なりに「らしさ」を生かしてゆく。
- ②大選挙区制を機に、町行政のあるべき基本的ルールをたてる。
- ③産業の長期計画、町営による耕地整理。
- ④須藤亮助議員
- ①議員が勉強しなければならぬことを痛感しているので、農業基本法にじっくりと向きたい。
- ②ゆとりのある町財政をつくる。
- ③町に災害救助法を作る必要があるのではないか。
- ④市川富二議員
- ①町の議会議員として、今後の農村、産業の振興はどうあったらよいか、ということを町民とともに考え、実行に移していく。
- ②学校統合による経済及び教育をどう進めなければならないかをし

丸山欽一郎議員

- ①農協の合併。農民の利益を守る
- ②栄橋の早期促進
- ③教育、産業面の偏重政策是正。
- ④河川改修。
- ⑤総合的病院の建設
- ⑥丸山欽一郎議員
- 具体的抱負を発表できる段階ではないが、これまでの町行政全体をみて教育偏重のきらいがあるので、今後は産業育成にも力をいれるような活動をしたい。
- ⑦和田光興議員
- ①これまでの経験と反省を基礎にして自分なりに「らしさ」を生かしてゆく。
- ②大選挙区制を機に、町行政のあるべき基本的ルールをたてる。
- ③産業の長期計画、町営による耕地整理。
- ④須藤亮助議員
- ①議員が勉強しなければならぬことを痛感しているので、農業基本法にじっくりと向きたい。
- ②ゆとりのある町財政をつくる。
- ③町に災害救助法を作る必要があるのではないか。
- ④市川富二議員
- ①町の議会議員として、今後の農村、産業の振興はどうあったらよいか、ということを町民とともに考え、実行に移していく。
- ②学校統合による経済及び教育をどう進めなければならないかをし

和田光興議員

- ①これまでの経験と反省を基礎にして自分なりに「らしさ」を生かしてゆく。
- ②大選挙区制を機に、町行政のあるべき基本的ルールをたてる。
- ③産業の長期計画、町営による耕地整理。
- ④須藤亮助議員
- ①議員が勉強しなければならぬことを痛感しているので、農業基本法にじっくりと向きたい。
- ②ゆとりのある町財政をつくる。
- ③町に災害救助法を作る必要があるのではないか。
- ④市川富二議員
- ①町の議会議員として、今後の農村、産業の振興はどうあったらよいか、ということを町民とともに考え、実行に移していく。
- ②学校統合による経済及び教育をどう進めなければならないかをし

須藤亮助議員

- ①議員が勉強しなければならぬことを痛感しているので、農業基本法にじっくりと向きたい。
- ②ゆとりのある町財政をつくる。
- ③町に災害救助法を作る必要があるのではないか。
- ④市川富二議員
- ①町の議会議員として、今後の農村、産業の振興はどうあったらよいか、ということを町民とともに考え、実行に移していく。
- ②学校統合による経済及び教育をどう進めなければならないかをし

市川富二議員

- ①町の議会議員として、今後の農村、産業の振興はどうあったらよいか、ということを町民とともに考え、実行に移していく。
- ②学校統合による経済及び教育をどう進めなければならないかをし

中村昌平議員

- ①仙田線、縦横、特に仁田峠―新町線の改修
- ②営農関係から考慮して、生活環境の改善。

ゆうづん研究し推進していく。

- ③社会教育も地域の実態に合わせたいにすすめていく。
- ④自立自営という考えでなく、国、隣接市町村との外交にも重きをおき町政をすすめていく。
- ⑤田中三郎議員
- ①地域の感情を捨て町の議員として職務をすすめていく。
- ②産業の振興に力を入れる。特に農業基本法については町民とよく話し合い川西町にそくした農業の方向を強力に推進する。
- ③学校教育はもちろん社会教育、特に青少年教育に力を入れ、次代の後継者の養成につとめる。
- ④町長と密接な連けいをつくり公民館の施設、設備の充実につとめる
- ⑤継続的事業の推進
- ⑥小林伝司議員
- ①平和な明るい川西町発展のためには、議員として、あらゆることに全力をつくしてすすむことが町民に対し感謝のしるしとなりお喜びすることがわたくしの使命と決意しております。
- ⑦数藤孝平議員
- ①一年生議員なのでいっしょけんめい勉強し町民のためのりっぱな政治ができるようがんばります
- ②明るい住みよい町づくりにまい進
- ③部落の議員でなく町の議員として農村の問題、学校教育、青少年教育、婦人教育の諸問題の実態をよくみきわめ、町民と話し合いながら強力に推進する。
- ④平野圭二議員
- ①川西町発展(文化・産業・教育)につくしていく。
- ②曲がり角にたっている農村をど

田中三郎議員

- ①地域の感情を捨て町の議員として職務をすすめていく。
- ②産業の振興に力を入れる。特に農業基本法については町民とよく話し合い川西町にそくした農業の方向を強力に推進する。
- ③学校教育はもちろん社会教育、特に青少年教育に力を入れ、次代の後継者の養成につとめる。
- ④町長と密接な連けいをつくり公民館の施設、設備の充実につとめる
- ⑤継続的事業の推進
- ⑥小林伝司議員
- ①平和な明るい川西町発展のためには、議員として、あらゆることに全力をつくしてすすむことが町民に対し感謝のしるしとなりお喜びすることがわたくしの使命と決意しております。
- ⑦数藤孝平議員
- ①一年生議員なのでいっしょけんめい勉強し町民のためのりっぱな政治ができるようがんばります
- ②明るい住みよい町づくりにまい進
- ③部落の議員でなく町の議員として農村の問題、学校教育、青少年教育、婦人教育の諸問題の実態をよくみきわめ、町民と話し合いながら強力に推進する。
- ④平野圭二議員
- ①川西町発展(文化・産業・教育)につくしていく。
- ②曲がり角にたっている農村をど

小林伝司議員

- ①平和な明るい川西町発展のためには、議員として、あらゆることに全力をつくしてすすむことが町民に対し感謝のしるしとなりお喜びすることがわたくしの使命と決意しております。
- ⑦数藤孝平議員
- ①一年生議員なのでいっしょけんめい勉強し町民のためのりっぱな政治ができるようがんばります
- ②明るい住みよい町づくりにまい進
- ③部落の議員でなく町の議員として農村の問題、学校教育、青少年教育、婦人教育の諸問題の実態をよくみきわめ、町民と話し合いながら強力に推進する。
- ④平野圭二議員
- ①川西町発展(文化・産業・教育)につくしていく。
- ②曲がり角にたっている農村をど

数藤孝平議員

- ①一年生議員なのでいっしょけんめい勉強し町民のためのりっぱな政治ができるようがんばります
- ②明るい住みよい町づくりにまい進
- ③部落の議員でなく町の議員として農村の問題、学校教育、青少年教育、婦人教育の諸問題の実態をよくみきわめ、町民と話し合いながら強力に推進する。
- ④平野圭二議員
- ①川西町発展(文化・産業・教育)につくしていく。
- ②曲がり角にたっている農村をど

平野圭二議員

- ①川西町発展(文化・産業・教育)につくしていく。
- ②曲がり角にたっている農村をど

保坂長雄議員

- ①一年生議員のためあらゆる面で勉強し川西町の議員として町政発展のために努力する。
- ②商工業発展及び農業経済の向上
- ③教育の強力推進(学校教育・社会教育)
- ④環境衛生の整備充実
- ⑤明るい町発展のため隣接市町村との交流をさかんにし、先進的な川西町建設に努力する。
- ⑥常に町民と話し合い、議員と町

黒島豊二議員

- ①町長と協力しながら明るい町政発展のため努力する。
- ②正直な議員としてむだ使いのない産業の振興、教育の推進
- ③特に農業の問題にはしんげんに考え、町民とともに勉強しよりよい農村づくりに努力する。
- ④学校教育はもちろん青少年教育、婦人教育を推進し、よりよい人間形成に努力する。
- ⑤保坂長雄議員
- ①一年生議員のためあらゆる面で勉強し川西町の議員として町政発展のために努力する。
- ②商工業発展及び農業経済の向上
- ③教育の強力推進(学校教育・社会教育)
- ④環境衛生の整備充実
- ⑤明るい町発展のため隣接市町村との交流をさかんにし、先進的な川西町建設に努力する。
- ⑥常に町民と話し合い、議員と町

小林与作議員

- ①中村町長の施政(町民の幸福と町政の発展)を絶対支持する。
- ②栄橋の早期完工と魚沼地方開発の意味で高柳・中条新田線の道路改良の実現。
- ③南雲重議員
- ①大選挙区制で当選した議員の意義を尊重し、部落や地区の利害代表でなく真に町全体の利益と建設のため正しい議会活動をやりたい
- ②今後四カ年の行財政はきわめてむづかしいことが予想されるので、合併直後の予算ぶんどり方式を改め、計画的な事業の推進と健全な町財政措置を強く要望する。
- ③好況の大企業と町の農業及び零細商工業者の所得格差の調整は、国県の指導や立法措置のみでは急速に解決できない。町自体が強力に自主的な地元産業の強力な振興策と重点的な財政措置を講ずることを要望し、住民の意志を強く議会に反映させたい。

黒島豊二議員

- ①町長と協力しながら明るい町政発展のため努力する。
- ②正直な議員としてむだ使いのない産業の振興、教育の推進
- ③特に農業の問題にはしんげんに考え、町民とともに勉強しよりよい農村づくりに努力する。
- ④学校教育はもちろん青少年教育、婦人教育を推進し、よりよい人間形成に努力する。
- ⑤保坂長雄議員
- ①一年生議員のためあらゆる面で勉強し川西町の議員として町政発展のために努力する。
- ②商工業発展及び農業経済の向上
- ③教育の強力推進(学校教育・社会教育)
- ④環境衛生の整備充実
- ⑤明るい町発展のため隣接市町村との交流をさかんにし、先進的な川西町建設に努力する。
- ⑥常に町民と話し合い、議員と町

南雲重議員

- ①大選挙区制で当選した議員の意義を尊重し、部落や地区の利害代表でなく真に町全体の利益と建設のため正しい議会活動をやりたい
- ②今後四カ年の行財政はきわめてむづかしいことが予想されるので、合併直後の予算ぶんどり方式を改め、計画的な事業の推進と健全な町財政措置を強く要望する。
- ③好況の大企業と町の農業及び零細商工業者の所得格差の調整は、国県の指導や立法措置のみでは急速に解決できない。町自体が強力に自主的な地元産業の強力な振興策と重点的な財政措置を講ずることを要望し、住民の意志を強く議会に反映させたい。

田村才一郎議員

- ①無電話部落の解消はさいわい実現されたが、今後は道路網の整備に力をそそぎたい。土地改良による生産を高め、機械の使用による余力で特産物の共同生産を図り、畜産の共同飼育を奨励する。
- ②川西中学校の校舎の完工と整備
- ③仙田中学校の寄宿舎の設立。定高仙田分校の独立校舎の実現。
- ④合併町村への特別交付税(廃止(来年度))されるので、健全財政をたどるよう努力したい。
- ⑤各種施設費及び災害復旧費などの地元負担の軽減から廃止へと努力したい。

田村才一郎議員

- ①無電話部落の解消はさいわい実現されたが、今後は道路網の整備に力をそそぎたい。土地改良による生産を高め、機械の使用による余力で特産物の共同生産を図り、畜産の共同飼育を奨励する。
- ②川西中学校の校舎の完工と整備
- ③仙田中学校の寄宿舎の設立。定高仙田分校の独立校舎の実現。
- ④合併町村への特別交付税(廃止(来年度))されるので、健全財政をたどるよう努力したい。
- ⑤各種施設費及び災害復旧費などの地元負担の軽減から廃止へと努力したい。

田村才一郎議員

- ①無電話部落の解消はさいわい実現されたが、今後は道路網の整備に力をそそぎたい。土地改良による生産を高め、機械の使用による余力で特産物の共同生産を図り、畜産の共同飼育を奨励する。
- ②川西中学校の校舎の完工と整備
- ③仙田中学校の寄宿舎の設立。定高仙田分校の独立校舎の実現。
- ④合併町村への特別交付税(廃止(来年度))されるので、健全財政をたどるよう努力したい。
- ⑤各種施設費及び災害復旧費などの地元負担の軽減から廃止へと努力したい。

八月十七日千手て 第二回町民大運動会

ことしの優勝は??

ただし無料は片道だけ。

日ごろ明るく、楽しく、そして住みよい川西町を建設するため努力くださる町民が一草に会し、スポーツとレクリエーションをとおして、町民相互の親睦と体位の向上をはかり、健全な肉体と精神を養うことにあります。

趣旨

★期日 十七日(雨天順延)午前九時に開始。

★場所 川西中学校千手校舎グラウンド。

★細部要項

- ①大会は地区対抗(千手・仙田・上野・橋)とする。
- ②応援についても地区対抗とし、応援団賞を出す。
- ③各種目は、年令別とし、三十才まで、三十一才から四十才まで、四十一才以上の三段階。
- ④選手は一種目一名(種目によっては多少がうものもある)
- ⑤各選手はリレーを除くほか一名一種目とする。(駅伝はリレーとみなす)
- ⑥スパイクの使用は禁止。
- ⑦得点は一位四点、二位三点、三位二点、四位一点とする。
- ⑧大会中の異議申し立ては地区代表二名とする。
- ⑨プログラムの変更は大会役員にて行なう。
- ⑩大会役員は別に定める。
- ⑪運動会事務局は川西町公民館(電話一九番)に設置する。
- ⑫応援団席は、昨年の抽せんをもとに巡回制とする。

これは昨年の成績でしたが、ことしの優勝はなに地区か、また大会にいっぺんの花をさえる応援団賞はどこへ?

仙田地区に無料バス

大会のため、とくに仙田地区には三台の無料バスを運行します。

- 中仙田発
 - 室島発
 - 岩瀬発
- が朝の八時ですか、多数ご利用ください。

★種目 一〇メートル競走

走り高とび
一五〇メートル競走
走高とび
二人三脚

六〇メートル競走
八〇メートル競走
消防団競走

四〇〇メートルリレー
砲丸投
四〇〇メートル競走
おしたく競走
一六〇メートルリレー
年令別リレー(男子)
年令別リレー(女子)
玉入れ競争
駅伝競走
余興レース

借物競走
アベック競走
風せんわり

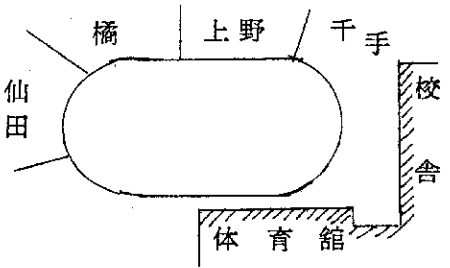
事務局でも準備にいそがしいこの第二回町民大運動会が、明るく楽しいひと時となるよう、みなさんの協力がまねられます。

戸籍の窓から

うぶ声 御すこやかに

樋口 民子	正信	二女	中仙田
登坂 幸美	等	長女	赤谷
佐藤 篤子	幸太郎	三女	赤谷
小山 健二	東伍	二男	赤谷
片桐 直美	武治	長女	大白倉
長谷川晃一	清一	長男	赤谷
川崎 昌子	勇	長女	室島

応援団席見取図



準備にぬかりない

一万、大会をあと数日にひかえた各地区の表情をさぐってみると千手・上野・橋ともそれぞれ八日に役員を集めて打ち合わせ会をひらくなど、準備におおわらね。仙田はすでにプラスチックバンドを編成して、昨年について鳴物入りの応援を計画している。いずれもふんいきは盛りあがりたようだ。

年金問答

問 国民年金法が施行され、本年四月から保険料納入が始まったのは知っているが、いつまでにとだけだけの保険料を納めるのか

答 保険料の納入は一年を四期にわけ、四月・五月・六月分は七月三十一日まで、七月・八月九月分は十月三十一日まで、十月十一月・十二月分は翌年一月三十一日まで、一月・二月・三月分は四月三十日まで納めていただくもので、これを「納期限」といいます。一月・四月・七月・十月を「基準月」といっております。したがって三月分ずつまとめてそれぞれの納期限までに納めればよいのですが、一世帯に数名の被保険者がいる場合、一度にたくさんの方の保険料を納めなければならず、なかなか現金収入の少ない農業者世帯ではそのために保険料の納入が困難になることを考え、川西町では被保険者の希望により、毎月その月の保険料を納めていただいております。

秋の収穫が終わってからの保険料を納めるつもりで、まだ一回も納めておりません。七月納期限を過ぎてもかまいませんか。

答 納期限を過ぎた月分の保険料に、もし一カ月分でも未納があれば、その人がケガをして片手や片足をなくしたような場合でも、その障害年金は一生受けることができず、夫が不幸にして死亡し、子どもがたたくさんいても母子年金を受けることができません。また一定期間を過ぎると未納の保険料に日歩六銭の利子が増えられ、任意加入した人の場合は、国民年金被保険者の資格が喪失させられます。

問 秋の収穫が終わってからの保険料を納めるつもりで、まだ一回も納めておりません。七月納期限を過ぎてもかまいませんか。

答 納期限を過ぎた月分の保険料に、もし一カ月分でも未納があれば、その人がケガをして片手や片足をなくしたような場合でも、その障害年金は一生受けることができず、夫が不幸にして死亡し、子どもがたたくさんいても母子年金を受けることができません。また一定期間を過ぎると未納の保険料に日歩六銭の利子が増えられ、任意加入した人の場合は、国民年金被保険者の資格が喪失させられます。

昇天 御めい福を祈る

高橋 正紀	哲男	二男	坪山
佐藤 小一郎	藤沢	七九	
桐生 熊次	大白倉	八五	
中村 トラ	岩瀬	八三	
岡島 文平	大白倉	七八	
高橋 伸行	室島	七	
高橋 長作	中仙田	七一	
中条久治郎	大倉	八一	
須藤 健三	仁田	二九	
丸山 ミヨ	根深	九二	

たかきこ 御円満に

金子 コヘ	上野	六四
平野 クニ	東善寺	八三
羽鳥 サキ	伊友	七七
村山 金治	高原田	七〇
南雲 リン	四郎兼	六七
星名 仙治	伊友	四九

新野 野上健次郎 上野
新野 山家ワメノ 上野から
新野 桑原 孝夫 桐山
新野 本山 綾子 松の山から

暑さで危い夏の病気

病気!!

連日の暑さで、みなさんおからだのぐあいはいかがですか。夏は、暑さのため、体力の消耗だけでなく、わたしたちの胃液の分泌が少なくなり、そのために、有害細菌に対する抵抗力が弱くなり、また、食欲の低下などで体力がおちるといわれています。このように、弱ったからだにいろいろの病原体がはいって、病気になる時が一番恐ろしいことです。毎日のくらしに、次のことをくれぐれも注意し、健康で明るい家庭で、住みよい町づくりに心がけましょう。

むらのない食事

体力の消耗がはげしい夏には、それに見合った栄養を補給しなければなりません。

これから、お盆や夏祭りなどで各家庭では、質、量ともに豊富な食事をとる機会が多いと思います。祝祭日のごちそうもよいことですが、ふだん、労働をしているときにこそ、食生活と、栄養の点に充分留意して、毎日の栄養がむらのないようにつとめましょう。

働いたあとに 適度の休息を!!

働いた(運動の)ことによっても、暑さのためにも大変な量の体力の消耗をするので、おとなも子どもも夜の睡眠を充分にすることに、夏のあいだはできるだけヒルネをするようにしてください。たとえ、眠れなくても横になることとはからだにとって大きな休息を意味するといわれます。

休息と栄養は、体力の源泉ですから、この二つをよく注意して、ふだんから体力を養っていき、病気に負けないからだをつくっておきましょう。

赤痢をばく滅

赤痢や小児マヒ、その他の腸管系の伝染病は、ハエやアブラ虫(ゴキブリ)がはびこる夏に、一番多く発生します。

発熱・腹痛・下痢(血便)このようなときは、すぐ医者にみてもらいましょう。なお、抗生物質のきかない赤痢菌(抗生剤耐性菌)は、昨年十六、七パーセントが、本年四月までに二六、四パーセントに増加していますが、この原因は、大部分がしろうと療法だといわれていますから、しろうと療法は絶対にしてはならないように、また、ぐあいの悪いときはすぐ医者の治療を受けることが大切ですが、それも患者の判断で勝手に治療を中止しないという注意も大切なことで



たのしい海! 千手小の恒海遊覧

す。近年は、このような症状がなくても、検便をしたら菌が検出される例がいくつもあります。赤痢菌は、つねに、どこにも、あるものと考えなければなりません。不幸にして、自分が感染したときは、他人に絶対に伝染させないように、お互がよく注意ください。

いつも食事は きれいな手で!!

病いは口から、手から口、といわれます。用便の後には、三割クレンソール石鹼液などの消毒液で手を洗う習慣をつけ、特に食事の前には必ず手洗いを励行しましょう。各家庭の便所に備えてある手洗器は、飾りものではありません。手洗器の中は、からにしておかないでいつも消毒液をいっぱいにしておくよう注意ください。消毒液は、百五十円以下でひと夏を利用できます。

食中毒!!

夏の食中毒は、肉や魚が腐敗してサルモネラ菌などによるものが大部分です。捨てるのがおしいと食べたらず毒をおこし、食物をおしんだ以上に人命や、経済に損害をまわくこととありますから、暑い時期には調理してから時間の経ったものや残りものには、視覚、嗅覚を最大に活用して、事故のないように御注意ください。

住みよい町づくり ハエや力をなくして

各町内、部落ともに公衆衛生推進委員の人たちを中心に、ハエと力を退治していることでしょう。ハエ、カ、アブラ虫、ネズミなどは、わたくしたち人間の生活に寄生して、伝染病などの悪い病気のなかたちをえています。赤痢患者の発生した家を調査したら、ハエが十五パーセント、アブラ虫が五十パーセント以上も赤痢菌をもっていたそうです。

このような一人体有害寄生動物は、一日も休まずに駆除につとめなければなりません。みなさんが(薬は効かなくなつた)といいますが、薬が効かなくなつたのではなく、発生する源をそのままにしておき、はねのある成虫だけを追いまわしている結果といわれます。

町の推進委員会は、ことしは例年以上に、発生源に重点をおくように決めました。この人々を中心に、創意、工夫をこらして、根気よく事業をすすめてください。

町の掲示板

※映画と講演会

二十二日午後一時から仙田小学校で、川西町保護司会主催の「社会を明るくする運動」の映画と講演会をひらく。

講師 新潟婦人少年室長 増尾栄子先生

※封筒募金

社会を明るくする運動、封筒募金を実施中です。住みよい、明るい社会を作るため、みなさんの協力をお願いします。

※技術大会入賞

一日から三日間の日程でひらかれたラジオ農業学校地方研修会(十日町高校)で、技術競技大会に権間修、中村武の両君が入賞した鑑定、審査、診断の各技術をきそつたもの。

※新町部落の農休日

十二月までの農休日次のように決定した。

九月二日、十月一日、十一月三日、十二月一日。

※大民踊流し

十五日よるの九時〜十時の間、千手中央通りで行なう。

※キャンパファイヤー

午後八時からサージタンク※庁内人事

財政課の大深充子さんが七月い

っぱいで退職した。

産業課では、七月二十九日付で

土木係野沢政範を農林係にはいちがえ。

かわにし 俳壇

太田白南風選

岩瀬 金子湖月

噴水の夏日うけては虹となる

ケープルのさしり夏日を揺らせ来

る 小白倉 田中緑風

嫺や木影ひそかに伸びる中

花合歡に土手の千草におい来る

越ヶ沢 小川辰治

かなかなの鳴きつつ宵雨の降れて

いく 至島 川崎久次

またたきて四五戸の灯り天の川

その人の感受するところによつ

て生まれた力を生かしてゆきたい

それにはもっと荒削りの個性があ

ってもよい。多く掲載したいとい

うことで多少添削したが再味して

作句上の資とされた。

後記

●町議選のあわたたしさのなかで編集にとりかかりました。印刷しめきり日すすれに新しい分野の抱負を各方面、手わけの大汗で掲載することができました。スベリコミ・セーフというところです。

●連日三十度を越す酷暑です。子どもたちにとって楽しい夏休みがつづいています。学校から開放され、とかく家庭の指導もたりになく、気ままにならぬよう、有意義に夏をすごせるよう、もつとみんなを考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

●新しい議員の活躍と前進により明るく住みよい川西町の建設を期待せずにはいられません。